

2018年5月30日

記者各位

JXTGエネルギー株式会社
三洋化成工業株式会社米国のENB製造装置の生産能力増強について

当社（社長：杉森 務）と三洋化成工業株式会社（社長：安藤 孝夫、以下「三洋化成工業」）は、米国のENB^{※1}製造装置の生産能力を40千トン／年から46千トン／年に15%増強することを決定しましたので、お知らせいたします。

ENBは、自動車の窓枠やラジエターホースなどに使用される合成ゴム（EPDM^{※2}）の製造に欠かせない成分であり、世界的な自動車生産の増加に伴い、ENBの需要も堅調に拡大しております。

当社と三洋化成工業は、現在日本に1系列、米国に2系列の製造拠点を有する世界最大のENBメーカー（※当社調べ）であり、北米・欧州・アジアのタンクターミナルから成る供給ネットワークを通じて、事業展開しております。

2007年に日米3系列の生産体制を構築後、ENBの需要拡大に合わせ、既存装置の生産能力増強を進めてきました。2015年には日本の製造装置の生産能力を2千トン／年増強し、この度さらに、米国の製造装置の生産能力を2020年までに6千トン／年増強することを決定しました。

これら一連の増強により、2020年の生産能力は、日米合計で68千トン／年となる予定です。また、2020年以降拡大が見込まれるENB需要に対応すべく、さらなる能力増強の検討を進めております。

当社と三洋化成工業は、生産体制の拡充を図ることにより、ENBの安定供給の継続に努めるとともに、ENB事業の更なる競争力強化を推進してまいります。

※1 エチリデン・ノルボルネン。EPDMの製造に欠かせない成分。

※2 エチレン・プロピレン・ジエン・メチレンリンケージ。耐熱性、耐候性に優れた合成ゴムとして、自動車用、工業用、建築用などに広く使用されており、自動車用が約80%程度を占める。エチレン、プロピレンにENBなどの第3成分を添加して合成する。

< E N B 製造装置の生産能力の推移 >

1979年4月	茨城県鹿島郡（現神栖市）において、E N B 第1 製造装置を新設し、生産を開始（※1997年に20千トン／年の生産体制を構築）
2003年5月	米国テキサス州ヒューストンにおいて、E N B 第2 製造装置（生産能力20千トン／年）を新設
2007年7月	米国テキサス州ヒューストンにおいて、E N B 第3 製造装置（生産能力20千トン／年）を新設
2015年9月	日本の生産能力を22千トン／年に増強（+2千トン／年）
2018年5月	米国の生産能力を2020年までに40千トン／年から46千トン／年に増強することを決定 ⇒ 2020年までに日米合計68千トン／年の生産体制になる予定

< E N B 製造装置の概要 >

装置名		第1 製造装置	第2 製造装置	第3 製造装置	日米合計
所在地		茨城県神栖市	米国テキサス州ヒューストン		
操業開始		1979年4月	2003年5月	2007年7月	
生産能力	現在	22千トン／年	20千トン／年	20千トン／年	62千トン／年
	2020年	22千トン／年	23千トン／年	23千トン／年	68千トン／年

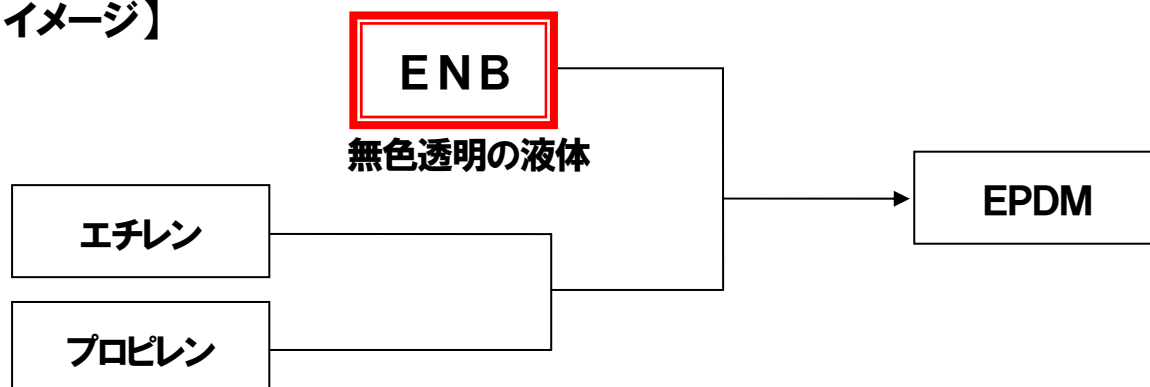
以 上

ENBとEPDMの関係

ENBはEPDM※の製造に欠かせない成分

EPDMは、エチレンとプロピレンの共重合に、第3成分としてENBを添加して製造される

【イメージ】



※ 主に自動車用として使用される、耐熱性、耐候性に優れた合成ゴム

EPDMの使用用途

EPDM使用量 = 約10Kg/乗用車1台

